

トピックス

インフルエンザ様疾患の集団発生について (平成 15 年 1 月 23 日現在)

今冬の愛知県(名古屋市等も含める)でのインフルエンザ様疾患の集団発生は、学級閉鎖などの防疫措置を受けた施設数 77 施設(前年同期 50 施設)、患者数は 2,365 名(前年同期 2,190 名)、欠席者数 1,350 名(前年同期 1,189 名)となっております。

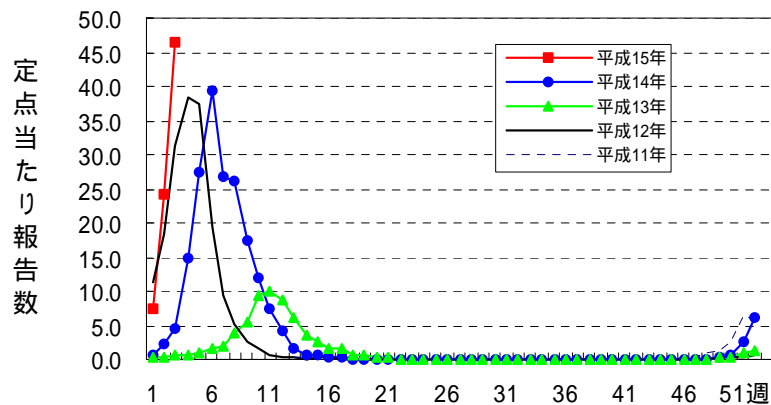
流行状況

インフルエンザ *1月14日付でインフルエンザ警報を発表しました。

定点当たりの報告数は 46.6(前週 24.1)と**更に増加**

インフルエンザの予防には**ワクチンの接種**が有効です。一般に、ワクチンを接種しておくこと、たとえインフルエンザを発症しても、軽症で経過することが期待できます。ただし、ワクチンの十分な効果を得るためには、早目に接種されることをお勧めします。

インフルエンザ



感染症についての説明及びグラフ総覧については、
愛知県衛生研究所のホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>)

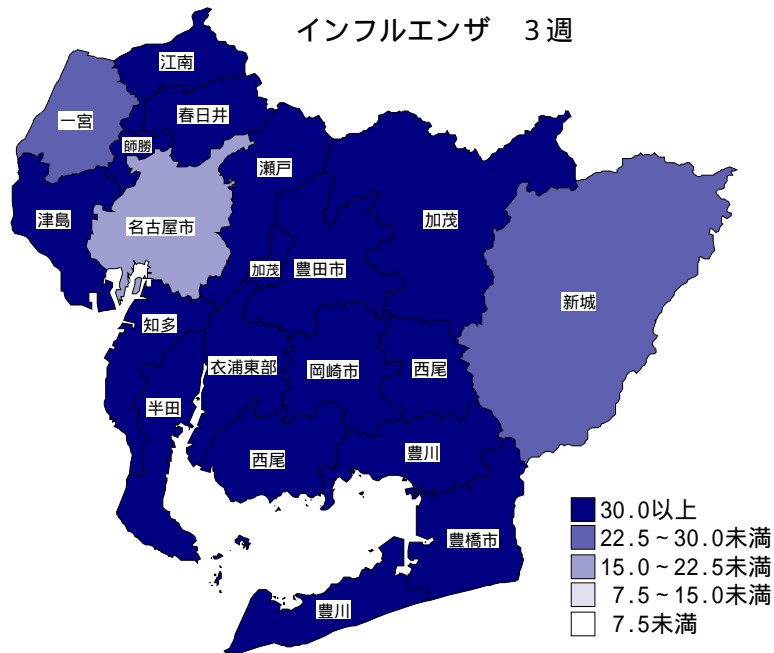
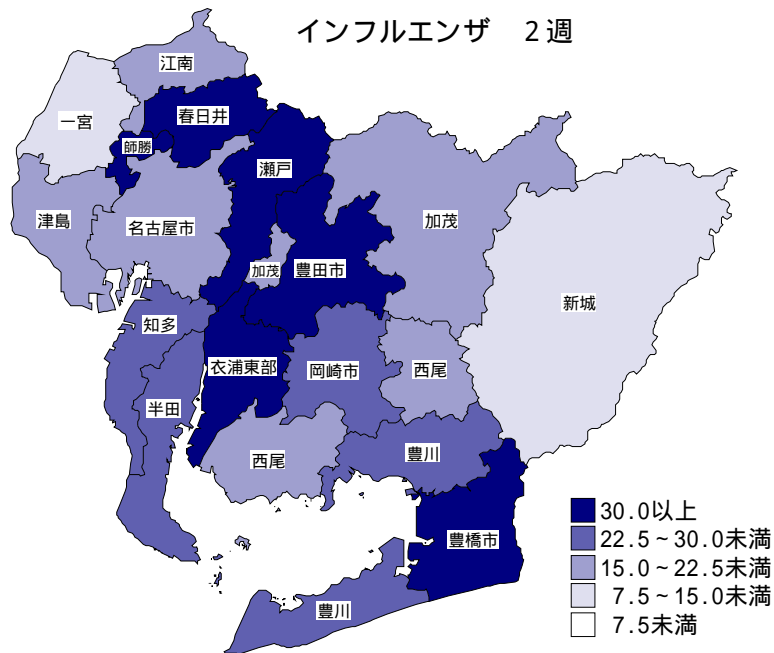
[厚生労働省インフルエンザ対策キャンペーンホームページ](#)

インフルエンザ Q & A、キャンペーンポスターなどがダウンロードできます。

<http://influenza-mhlw.sfc.wide.ad.jp/>



インフルエンザの保健所別報告数の推移（名古屋市含む）



	2週	定点 当たり	3週	定点 当たり		2週	定点 当たり	3週	定点 当たり
名古屋市	1058	15.11	1491	21.30	岡崎	303	27.55	779	70.82
瀬戸	388	43.11	501	55.67	衣浦東部	497	45.18	1306	118.73
津島	109	15.57	258	36.86	西尾	80	16.00	226	45.20
師勝	184	46.00	251	62.75	豊田市	262	32.75	616	77.00
一宮	217	13.56	412	25.75	加茂	63	21.00	94	31.33
春日井	390	43.33	844	93.78	豊橋市	276	34.50	472	59.00
江南	132	22.00	300	50.00	豊川	246	27.33	407	45.22
半田	165	27.50	475	79.17	新城	29	14.50	45	22.50
知多	181	25.86	421	60.14					

は今週警報が発生している保健所です。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによるインフルエンザの流行発生警報の開始基準値は定点当たり 30 人、継続基準値は 10 人です。警報の意味は大きな流行が発生または継続しつつあることが疑われるということです。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

病原性大腸菌 O1 25 歳女
病原性大腸菌 O15 1 歳男
病原性大腸菌 O86a 10 歳女
インフルエンザ流行中です。

(尾西市 城後小児科)

水痘小流行

インフルエンザは、9 ヶ月男の B 型 1 例(家族内感染)を除いて、全て A 型
幼児から老人まで全年齢に発症

発熱極く初期では、クイック(生研)は陰性のこと多し。翌日再検で陽性化

(一宮市 後藤小児科医院)

インフルエンザ 44 人(3 ヶ月~50 代)と急増すべて A 型。1 名のみ B 型
にも弱く反応したものあり。(キャピリア FluA, B) 5 名はワクチン接種
済、ワクチン接種していなくても比較的症状の軽い子もあり。

(一宮市 あさのこどもクリニック)

インフルエンザは A と判明しました。

(一宮市 田中内科小児科医院)

インフルエンザは全て A 型で、アマンタジン 2 回服用でほとんどの例が多
くても 4 回で全て解熱した。しかし 1 割で発熱が再びみられた。

(一宮市 平谷小児科)

名古屋へ通学通勤している人に B 型インフルエンザの人が見られます。

(A 型 72 人、B 型 2 人)

O18 7 ヶ月女

カンピロバクター 2 歳女

(犬山市 武内医院)

インフルエンザ流行中です(49 名すべて A 型)。

感染性胃腸炎も小流行あります。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

A 型インフルエンザ 69cases(うちワクチン接種者 16 名)

小学校の 1 年生のあるクラスで、1 月 16 日、10 名の嘔吐(+)、発熱の
ウイルス性胃腸炎 発生しました。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

1 歳男、8 歳女 マイコプラズマ肺炎

(師勝町 田中クリニック)

エスプライン A、インフルエンザ A & B キット(富士レビオ株式会社)に
て判定

(春日町 丹羽医院)

尾張東部地区

インフルエンザはすべて A 型で（50 例）、ワクチン接種済は 2 例（6 歳男、6 歳男）

アマンタジン無効が 1 例（4 歳女）ありました。

（瀬戸市 津田こどもクリニック）

3 歳男 インフル B 1 名

（瀬戸市 公立陶生病院）

インフルエンザ流行続いています。主に幼児、成人で学童の流行はまだこれからと思われます。ほとんどが A 型です。成人で 1 名のみ B 型がみられました。1 歳未満の罹患例もみられますが、いずれも全身状態良好で経過良好でした。

その他、溶連菌感染症、水痘散発、マイコプラズマ肺炎もまだみられません。

（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

ロタ腸炎（1 歳 10 ヶ月女）が出ました。

インフルエンザ A、アデノウイルス、RS ウイルス相変わらず多いです。

（尾張旭市 旭労災病院）

インフルエンザチェック全部 A 型

（豊明市 豊明団地診療所）

インフルエンザ 28 名（全て A 型）

そのうち 13 名（1 歳～8 歳）はワクチン接種済み

水痘、伝染性紅斑が少々。

（春日井市 朝宮こどもクリニック）

今週はインフルエンザが目立ちますが、感染性胃腸炎もまだみられます。溶連菌感染症も 1 例ありました。

（春日井市 かがわ北病院）

ヘルパンギーナ様咽頭炎 手足口病を疑わせる四肢発疹例がありました。

インフルエンザの診断はキャピリアあるいはエスプラインによります。

（春日井市 竹内医院）

インフルエンザ流行中（A のみです）

（小牧市 小牧市民病院）

インフルエンザ B は 1 例のみでした。

（小牧市 志水こどもクリニック）

インフルエンザ A 型が多い。

（小牧市 医療法人心正会鈴木小児科）

インフルエンザ A 21 名、インフルエンザ B 1 名（5 歳女）

（半田市 医療法人林医院）

20～40 歳中心にインフルエンザ流行（A 型）タミフル著効

（南知多町 医療法人大岩医院）

1 歳男 病原性大腸菌 O18

A 型インフルエンザ急増

（東海市 小児科ハヤカワ医院）

インフルエンザはいずれも A 型です。

(大府市 まえはらこどもクリニック)

西三河地区

インフルエンザ 合計 64 例 (A 型インフルエンザ)

迅速検査は 57 例に施行し全例 A 型でした。

エスプラインインフルエンザ 21 例

ポクテムインフルエンザ 8 例

インフル A B クイック 28 例

検査未施行例は、家族内感染例と、すでに救急外来で A 型と診断されている症例です。迅速検査で A 陽性 (57 例) の内、インフルエンザワクチン 2 回接種者は 8 名 (14%)、1 回接種者は 6 名 (10.5%) でした。

咽頭結膜熱の 2 例は兄弟で、チェック A d 陽性でした。

病原大腸菌 O1 は 1 歳女と 11 ヶ月男に検出されました。11 ヶ月男はその後、白色便性下痢となり便口ウイルス抗原検査が陽性でした。

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

インフルエンザ 姉・弟、2 回ワクチン施行例で発生 他に 2 件

インフルエンザ大流行

マイコプラズマ肺炎 3 人

水痘ポツポツ

溶連菌感染症 2 人

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

1 歳男、2 歳男 2 人 病原性大腸菌 O18

(岡崎市 花田こどもクリニック)

7 歳男 病原性大腸菌 O1 VT (-)

7 歳男 病原性大腸菌 O127a VT (-)

4 歳男 B 型インフルエンザ

(岡崎市 にいのみ小児科)

A 型インフルエンザ 105 名うちワクチン接種済 12 名

B 型インフルエンザ 6 名

6 歳男 A 型インフルエンザと溶連菌感染症合併

(岡崎市 医療法人川島小児科水野医院)

インフルエンザ急増中。近くの学校で学級閉鎖有り。岡崎市北部の当院で 1 週間インフルエンザ 61 名出たが、B 型陽性はなし。

(岡崎市 粟屋医院)

A 型インフルエンザ 37 名 (10 名家族内発症、1 名ワクチン接種済) 36 名
インフル A B クイック A (+)、1 名臨床診断のみ。

B 型インフルエンザ 2 名 (両名とも家族内発症、かつワクチン接種済)

インフル A B クイック B (+)

(岡崎市 永坂内科医院)

迅速キットで確認 A 型 56 名、B 型 1 名

(岡崎市 村山医院)

インフルエンザ FluB (+) 1 例あとは全部 A 型
ロタ (+) 1 例

(刈谷市 田和小児科医院)

インフルエンザ (殆ど A) 流行中です。
ロタウイルス感染症もいます。

(碧南市 永井小児クリニック)

アデノ感染症 2 例

(知立市 宮谷クリニック)

インフルエンザワクチン無効例 1 例

(安城市 医療法人鳥居医院)

インフル A B クイック陽性 1 歳、6 歳男、3 歳、8 歳、2 歳、28 歳 女、
ワクチン接種済 15 歳女
母親への溶連菌の感染が目立ちます。

(西尾市 やすい小児科)

インフルエンザ A 型 65 人 (予防接種済 11 人)

(西尾市 山岸クリニック)

インフルエンザが増加中
病原性大腸菌 O1 VT (-)

(幸田町 とみた小児科)

インフルエンザ A 型が急に増えてきました。
溶連菌感染症も多くなりました。

(三好町 三好町立三好病院)

東三河地区

インフルエンザ A 型で熱性ケイレンあり。3 歳男、2 歳男、1 歳男、9 ヶ月
女、インフルエンザワクチン未接種です。

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

インフルエンザは相変わらず多く見られますが、発熱、嘔吐の患者さんも
多く見られます。

(豊橋市 あずまだこどもクリニック)

1 月 16 日、今シーズン最初の B 型インフルエンザの患者が出ました。

(豊橋市 豊橋市民病院)

インフルエンザ B 陽性 1 名

(新城市 新城市民病院)

1 歳男 A 型インフルエンザ、ロタウイルス感染合併

(蒲郡市 蒲郡市民病院)

1～3類感染症の発生状況（愛知県）

発生報告なし

全数把握の4類感染症の発生状況（愛知県）

アメーバ赤痢 1例（推定感染地：国内）

急性ウイルス性肝炎 1例（A型）

マラリア 1例（推定感染地：ガーナ）

第52週(14年12月22日～12月29日)の4類感染症（全国）

インフルエンザの定点当たり報告数はさらに増加して 8.71 となり、過去 5 年間の同時期に比べかなり多い。都道府県別では引き続き、福岡県（40.1）、佐賀県（33.5）、大分県（22.5）、広島県（21.2）など西日本からの報告が多いが、宮城県（0.6）、岩手県（0.6）、青森県（0.3）の東北 3 県を除き、すべての都道府県で定点当たり報告数が 1.0 を超えた。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期に比べやや多く、都道府県別では第 48 週から 5 週間連続して、秋田県（2.3）からの報告が多い。他の疾患の定点当たり報告数は、過去 5 年間の同時期と比べて多くなってはいないが、水痘の定点当たり報告数は引き続き多く、都道府県別では福井県（5.9）、鹿児島県（4.7）、佐賀県（4.6）、和歌山県（4.6）などが多い。風疹と麻疹（成人麻疹を除く）の定点当たり報告数はそれぞれ 0.01 と 0.03 と少ないが、前者では岡山県（0.1）からの報告が前週に引き続き多く、後者では福島県（0.5）と宮崎県（0.4）で 3 割以上を占めた。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週同様、前者で秋田県（3.3）、岩手県（2.4）をはじめとした東北地方（1.76）と鳥取県（1.8）、後者で高知県（4.7）などが多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎（1.04）と感染性胃腸炎（8.08）の定点当たり報告数は年末を迎え、例年通り大きく減少したが、前者では富山県（2.9）、福井県（2.3）などから 2.0 以上の報告があり、後者では三重県（18.2）を筆頭に 13 都道府県で、引き続き 10 を超えている。マイコプラズマ肺炎（0.18）の定点当たり報告数は減少を続けているが、東北地方（0.51）からの報告の減少は他地区に比して緩やかで、今でも全国レベルの約 3 倍ある。

（Infectious Diseases Weekly Report より抜粋）

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター - 感染症情報室提供）

詳細は感染症情報センター - のホ - ムペ - ジ（<http://idsc.nih.gov/kanja/index-j.html>）の感染症発生動向調査週報をご覧ください。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

寒い日が続いていて朝起きるのが辛い毎日ですが、庭の隅では寒椿が咲きこぼれ、蠟梅が満開でインフルエンザの多発と共に季節は確実に移りすぎています。いつも貴重な情報を有難うございます。1 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：第一日赤有吉先生からはインフルエンザとウイルス性胃腸炎が多く、水痘、川崎病が目立つ、城北病院渡辺先生からは年末年始の救急はほとんどがインフルエンザでその 90% 以上が A 型、肺炎・気管支炎は少ない感があり急性嘔吐下痢症が続き時にサルモネラ等の細菌性腸炎あり、第二日赤岩佐先生からはインフル A が多く脳症の死亡例 1 例、千種区今枝先生からは A 群溶連菌感染症と感染性胃腸炎、水痘散発、インフルエンザぼつぼつ、三菱病院入山先生からはインフルエンザ A 急増、気管支炎肺炎合併例あり、急性嘔吐下痢症、感染性腸炎（病原性大腸菌 O1、カンピロバクター）、ヘルペス性口内炎歯肉炎の要入院例 1 例、中京病院柴田先生からはインフルエンザ A 多発中で要入院例が目立つ、労災病院山田先生からはインフル A 多発中で入院例目立つ（ワクチンしても痙攣おこす例が多数）、ロタ腸炎、RS 感染症、溶連菌感染症、水痘、水痘ワクチン歴のある帯状疱疹 1 例、マイコプラズマ肺炎ありとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からは A 型インフルエンザ流行中で感染性胃腸炎はやや減少、水痘散発、常滑市民病院上田先生からはインフルエンザ（脱水、仮性クル - プ合併）とウイルス性胃腸炎、RS ウイルス感染症による細気管支炎、マイコプラズマ感染症、水痘、ムンプスが目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザ A 増加、RS ウイルス感染症、マイコプラズマが多い、トヨタ病院梶田先生からはインフルエンザ A 多発（ワクチン接種歴あるものが目立ち、熱性痙攣頻回で要入院例あり）、RS ウイルスの細気管支炎・肺炎、嘔吐を主体とする急性胃腸炎が目立つ、岡崎市民病院小児科からはインフルエンザ A が大流行中で水痘は散見、知立市近藤先生からは A 型主体のインフルエンザが流行中でムンプス、水痘が発生中で感染性下痢症は少ない、刈谷市田和先生からはインフルエンザ A 型が多発、水痘散発、感染性胃腸炎（ロタ陽性例あり）、碧南市永井先生からはインフル流行（殆ど A 型）、ロタウイルス感染症もみられる、豊橋市からは水痘散見、インフルエンザ A 型が目立つとのお手紙でした（長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

2002 年 1 月 29 日 (77 巻 48 号)

ポリオ：アフリカの角地帯（エチオピア、ソマリア、ス・ダン）。01 年 1 月 - 02 年 10 月。88 年 5 月の世界会議移行 01 年までにポリオ常在国は 125 カ国が 10 カ国に減少、ポリオ患者数は世界全体で 99% 以上減少した。本報はエチオピア、ソマリア、ス・ダンの 02 年 10 月までの状況の概略である。ワクチン接種率：1 歳以下の小児の 3 回接種完了者はエチオピアで 50%、ソマリアで 33%、ス・ダンで良好な地区で 71% であり国全体で 47% となっている。定期接種以外の緊急接種：5 歳以下の定期外接種はエチオピアで 1,370 万名、ソマリアで 130 万名、700 万名が戸別訪問方式で接種されている。定期接種、緊急接種共に内戦などの紛争の影響が大きい。

ポリオ野生株確認患者数：01 年 1 月 - 10 月の間、ソマリアで 2 例（地図あり）。

ワクチン安全性委員会。02 年 6 月。ジュネーブ。コメント：使い捨て注射器・針の普及、予防接種率と同時に安全性の重要性、ポリオ根絶の進展、ワクチン安全性の教育を通じた普及運動。

ポリオ根絶：世界におけるポリオ常在国数が最低となっている。

インフルエンザ。02 年 11 月。アルゼンチン：主として A (H1N1)、フィンランド：B、フランス：B 型。香港：A (H3N2)。ポルトガル：A (H3N2)。ロシア：A (H3N2)。スペイン：B 型。

11 月 22 - 28 日届出：コレラ。コンゴ、ソマリア、ウガンダ。

2002 年 1 月 26 日 (77 巻 49 号)

急性気道感染症：コンゴ。11 月 22 日時点で 4,000 例（死亡 500 例）。鼻汁、頭痛、関節痛、呼吸不全。原因検索中。

世界のエイズ：02 年末。4,200 万例（成人：3,860 万、女性：1920 万、15 歳以下：320 万。02 年の新規感染 500 万、死亡 310 万例）。02 年末でエイズ患者届出数 2,822,111 例。国別一覧表あり、問題：不正確な地区が多い。米合衆国（806,157）、ブラジル（215,799）、タンザニア（130,386）、ナイジェリア（60,564）、ウガンダ（55,861）、スペイン（63,252）、フランス（54,720）、タイ（188,117）などが目立っている。1980 - 2002 年の地域別増加状況のグラフと一覧表あり。

インフルエンザ。02 年 11 月。タイ：ウイルス検索中。ウクライナ：A 型と B 型。A (H1N1) と A (H3N2)。

11 月 29 - 12 月 5 日届出：コレラ。モザンビーク、ナイジェリア、ト・ゴ、ウガンダ

愛知県感染症情報

2003年第3週(平成15年1月13日～1月19日)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	8,898	12	141	819	386	14	39	120	1	0	1	3	78	1	14	0	0	0	3	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	7,407	8	95	551	343	13	34	96	0	0	1	1	60	1	9	0	0	0	3	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	1,491	4	46	268	43	1	5	24	1		2	18		5							
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	501	1	3	24	14			6				12									
海部津島	津島	7	7	2	2	258		3	36	19	2	1	6						1							
尾張中部	師勝	4	4	1	1	251			35	2		1	1						1							
尾張西部	一宮	16	12	3	4	412		7	61	31	1	3	10					9	1							
尾張北部	春日井	9	9	2	3	844	2	11	28	8	2	4	4						5	2						
	江南	6	6	1	2	300		3	58	24	1	2	6						1	1						
知多半島	半田	6	6	1	2	475	2	2	22	6			6						2	1				1		
	知多	7	7	2	2	421	1	4	35	16	1		4													
西三河南部	岡崎	11	7	2	2	779		13	8	72	1	3	7					12	1							
	衣浦東部	11	11	2	4	1,306		6	34	36		6	13						7							
	西尾	5	5	1	2	226		11	22	27		5	9						1							
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	616	2	7	25	22	1	2	7				1	9	1							
	加茂	3	3		1	94		7	17	7			4						2							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	472		13	82	26	2	7	11						1					2		
	豊川	9	8	1	2	407		5	64	32	2		2		1											
東三河北部	新城	2	2			45				1																

*平成15年1月より岡崎保健所管内の額田郡(2定点)の報告については、西尾保健所報告となりました。

愛知県感染症情報

2003年第1週～第3週(平成14年12月30日～平成15年1月19日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	14,887	25	302	2,052	1,336	50	97	275	3	0	8	6	271	9	26	0	0	3	5	0	0
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	12,237	19	217	1,439	1,143	43	87	229	0	0	8	4	227	9	17	0	0	3	5	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	2,650	6	85	613	193	7	10	46	3			2	44		9						
尾張東部	9	9	2	3	1	1,148	9	17	65	47	1		13		1			29								
海部津島	7	7	2	2	1	368		6	74	58	2	5	13					4		1						
尾張中部	4	4	1	1		443			101	6		2	2		3			1		1						
尾張西部	16	12	3	4	1	664		19	154	97	8	10	23					13	1	1						
尾張北部	9	9	2	3	1	1,435	3	24	88	39	7	5	17		2	1		23		3						
	6	6	1	2		458		5	155	73	2	5	16					10		2						
知多半島	6	6	1	2	1	855	2	3	51	34	2		17			1		28		1			1			
	7	7	2	2		640	2	10	80	72	2		10					3		1						
西三河南部	11	7	2	2	1	1,136		23	12	191	2	11	24					37	1	2						
	11	11	2	4	1	1,973	1	30	110	136	1	12	23					32					2	1		
	5	5	1	2	1	312		25	103	72	2	14	13					6		1			1			
西三河北部	8	8	2	3	1	987	2	9	55	92	1	4	13		1	2		28	7	1				1		
	3	3		1		200		8	34	30	2		5					11								
東三河南部	8	8	2	4	1	807		23	178	78	7	17	26							3				2		
	9	8	1	2	1	699		14	179	112	4	2	11		1											
東三河北部	2	2			1	112		1		6			3													

*平成15年1月より岡崎保健所管内の額田郡(2定点)の報告については、西尾保健所報告となりました。

